



# 浦島伝説

## 自分の一歩

毎年、忙しい4月を乗り越えると、5月は学校生活にも慣れ、落ち着いた生活を取り戻すことができます。ところが、今年はちょっと違います。3年生は、明日から3泊4日の北九州への修学旅行に出かけます。その間、1, 2年生も農業体験や校外学習などの行事があります。19、20日は、本年度初めての中間テストです。そして、29日には、今年から春に移行した体育祭が待ちかまえています。さっそく、連休明けの昨日から、本格的に体育祭の練習が始まりました。4月以上に忙しい5月を過ごすことになりそうです。

さて、東日本大震災以後、「「こころ」はだれにも見えないけれど「こころづかい」は見える。「思い」は見えないけど「思いやり」はだれにでも見える」というCMがよく流れています。これは、宮澤章二さんの『行為の意味』という詩の一節です。宮澤さんは、東京大学卒業後、高校教諭を経て詩人・作詞家となり、校歌や合唱曲、童謡などの作詞を多数手がけられました。特に、校歌は埼玉県内を中心に300校以上にのぼります。『シングルベル』の訳詞者としても知られています。しかし、平成17年3月11日に亡くなられました。(命日は、東日本大震災が起きた日と同じです)

右に紹介した詩も、宮澤さんの作品です。新しい学年がスタートして約1か月経ちましたが、自分の第一歩をしっかりと踏み出せているでしょうか。中間テストや体育祭という具体的な目標も目の前にくっきりと見えています。大きくても小さくても、まずは自分の力で第一歩を踏み出すことが大切です。一步一步前へ進んでいけば必ずゴール(到着点)にたどり着きます。その一步一步こそが「努力」なのです。生きている証として、歩き続けましょう。

自分の一歩  
宮澤章二

いま わたしの踏みしめる一歩は  
だれか他の人の一歩ではない

私の足が地上に刻む一歩は  
いつでもわたし自身の一歩なのだ

他の人より一歩先を歩くからといって  
他の人より優れているとは限らない

他の人より一歩後を歩くからといって  
他の人より劣っているとは限らない

自分の目標を定めて歩きだしたのだから  
自分の一歩をしっかりと信じて進もう

その決意が 最後まで歩く力を生む  
出発点には「人生」などまだない

到着点にこそ わが「人生」はあるのだ  
歩きつづけ 生きぬいた 尊い証明として

### 「これくらい大丈夫・・・」は危険です

詫間中学校では、トラブルの未然防止対策として、生徒だけでのゲームセンター、カラオケボックス、映画館、喫茶店などへの立入りを禁止しています。これは、恐喝・脅迫などが起こりやすい場所であり、小学生や中学生が最も狙われやすい立場にあるからです。でも、「そんなトラブルにはあわない」と自分で勝手に決め込んだり、「今の時代、そのくらいかまわないのでは」と家族が認めてしまったりするケースが多いようです。「これくらい…」という甘い考えは危険です。豊かな時代になったからこそ、やりたくても我慢する経験、自分の思いどおりにならない経験をさせておくことも大切です。こんなルールは、中学卒業後にはなくなります。その時に、大人になった喜びを実感し、自分の行動に責任を持つようになります。“自分で考えて行動できる喜び”を奪ってはいけません。中学時代は、「学校の決まりだからダメ」でもいいのです。

### ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ お知らせ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

- 各行事等における生徒たちの活動の様子を写真入りで紹介した『玉手箱』(詫間中学校日記)を詫間中学校ホームページに掲載しています。昨年度は、57の活動を載せています。本年度も現在、4/6「始業式」、4/7「入学式」、4/12「部活動紹介」、4/13「吹奏楽部ミニコンサート」、4/20「交通教室」、4/21「AKB」、4/29「浦島デー」の7つを紹介しています。ぜひご覧ください。
- 本年度「まちcomi」メール登録者数は、1年91名(69%)、2年100名(84%)、3年62名(61%)です。先日は、浦島デー日程確認のために送信しましたが、今後、修学旅行や体育祭等の情報発信、インフルエンザによる学級閉鎖など緊急時の対応などに活用していきます。まだの方は、今からでも登録可能です。